



スリーアール

リニューアブル

# 3R+Renewableって何だろう？

「Reduce(リデュース)」「Reuse(リユース)」「Recycle(リサイクル)」の3つを合わせて「3R(スリーアール)」といいます。この3Rに「Renewable(リニューアブル)」を加えた3R+Renewableを実践することで、捨てられるプラスチックごみをできる限り減らし、プラスチックのライフサイクル全体を通じた資源循環をめざすことが大切です。



## Reduce リデュース (発生抑制)

リデュースは、「減らす」という意味です。ごみの発生・排出をできる限り減らすことを指します。

リユースは、「もう一度使う」という意味です。一度使われた製品をできる限り繰り返し使用することを指します。

リサイクルは、「再生利用する」という意味です。使い終わったものを資源として再び利用することを指します。



リニューアブルは、「再生可能」という意味です。普通のプラスチックは、石油を原料としており、リサイクルができて、使用した資源(石油)は再生可能ではありません。そのため、紙や植物を原料とするバイオマスプラスチックなどの再生可能な資源に変えることで、持続可能な社会を目指そうという、4つめのRです。



# 毎月ついたち「しがプラチャレンジの日」に具体的にできることは？

取り組んだら□にチェックしてみよう！

## リデュース Reduce (発生抑制)

チェック

- マイバッグを携帯し、レジ袋は買わないようにしましょう。
- マイボトルを持参し、ペットボトルなどの利用を減らしましょう。
- マイトラリーを持参し、使い捨てのスプーンやフォークなどの利用を減らしましょう。
- 宿泊施設を利用するときは、ヘアブラシや歯ブラシなどを持参しましょう。
- 過剰な包装は断り、簡易包装やばら売りをしている商品を選びましょう。



## リユース Reuse (再使用)

チェック

- 詰め替え商品を積極的に選んで買うようにしましょう。シャンプーや洗剤、ボールペンなど、詰め替え用の商品を選ぶ方が、お財布にも優しいですね。
- プラスチック製品を使うときは、長く繰り返し使しましょう。修理やメンテナンス、リメイクで長く製品を使いましょう。
- フリーマーケットやリサイクルショップを活用しましょう。家電製品やおもちゃには、多くのプラスチックが使われています。不要になったら、ほしい人に使ってもらいましょう。



# 毎月ついたちしがプラチャレンジの日



## リサイクル Recycle (再生利用)

チェック

- ごみを分別しましょう。「混ぜればごみ、分ければ資源」です。自治体のルールに従い適切に分別し、排出しましょう。
- 店頭回収を利用しましょう。店頭で食品トレーやペットボトルなどの回収ボックスを設置し、自主的に回収を行っているお店があります。
- 自動販売機のリサイクルボックスを適切に利用しましょう。自動販売機横のリサイクルボックスにごみが混ざっていると、ペットボトルなどのリサイクルができなくなってしまいます。

## リニューアブル Renewable (再生可能)

再生可能資源(紙・バイオマスプラスチック等)や再生素材の利用促進

チェック

- プラスチックの代替製品を利用しましょう。例えば、紙製品や木製品、植物を原料とするバイオマスプラスチックを使用した製品を使うことで、環境にやさしい選択ができます。

### それでもごみになってしまう場合

チェック

- 清掃活動に積極的に参加しましょう。
- ポイ捨てをしないようにしましょう。3Rを経てもどうしてもごみになってしまうプラスチックは、適正に処理をしないと琵琶湖や川、さらには海に流失し、魚が誤って食べてしまうなどさまざまな問題を引き起こします。

